

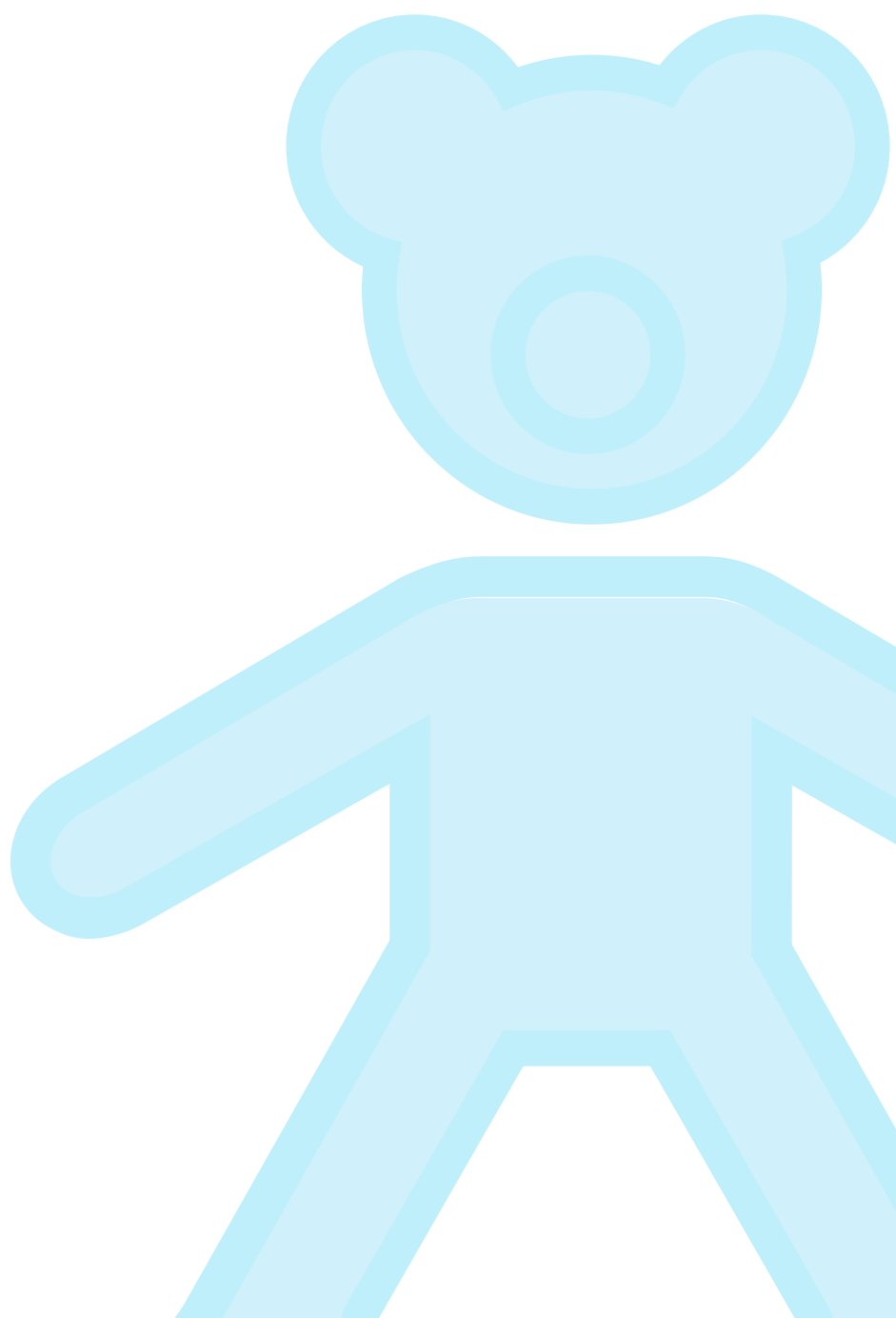
World Association
of Girl Guides
and Girl Scouts

Association mondiale
des Guides et des
Eclaireuses

Asociación
Mundial de las
Guías Scouts

ワールドシンキングデイ2013 活動パック

World Thinking Day MDG4 Activity Pack 2013



“一緒になら、
子どもたちの命を救える”



www.worldthinkingday.org





目 次

1.はじめに.....	02
2.ミレニアム開発目標 4 (MDG 4) について.....	06
3.焦点国	10
アイルランド (ヨーロッパ地域)	13
ヨルダン・ハシェミット王国(アラブ地域)...	14
マラウイ共和国 (アフリカ地域).....	14
パキスタンイスラム共和国(アジア太平洋地域)	15
ベネズエラ・ボリバル共和国(西半球地域)	15
4.アクティビティ	17
出典	23



1.はじめに

世界中のガールガイド・ガールスカウトが1926年からワールドシンキングデイをお祝っています。ワールドシンキングデイは2月22日ですが、年間を通じてのテーマに取り組みます。ワールドシンキングデイはガールガイド・ガールスカウトにとって次のことを知るチャンスです。

- ガールスカウトの活動で知り合った世界中の友達との国際的友情に感謝する
- 世界中のより多くの少女や若い女性と共に、ガールスカウト運動を展開するために、募金活動をする
- 私たちの世界に影響を及ぼしている問題に対し、一緒に行動を起こす



“together we can
change our world”





ワールドシンキングデイの歴史

毎年2月22日に、世界中のガールガイド・ガールスカウトはワールドシンキングデイをお祝いします。ワールドシンキングデイは1926年、アメリカ連盟のエディス・メイシーキャンプ場（現在はエディス・メイシー会議センターと呼ばれています。）で開催された第4回国際会議で制定されました。会議参加者は、「世界中のガールガイド・ガールスカウトが互いに思い合い、感謝し合い、そして私たちの運動の中で見出した国際的な友情の価値をあらためて実感する特別な日にすべきである」と賛同しました。

代表者たちは、ボーイスカウト運動の創始者であるベーデン・パウエル卿と、その妻であり、ワールドチーフガイドを務めたオレブの誕生日である2月22日をワールドシンキングデイに選びました。

ポーランドで開催された1932年の第7回世界会議で、ある代表団が、「誕生日には昔から贈り物をするものだとして、少女たちがワールドシンキングデイに感謝の気持ちと友情を確認し、互いの幸せを祈るだけでなく、他国のガールガイド・ガールスカウト活動を支援するための世界連盟への自発的な寄付をしてはどうかと提案しました。

オレブはすべてのガールガイドとガールスカウトに1ペニーを寄付することを依頼する手紙を書き、それによりワールドシンキングデイファンドが作られました。それ以降、一年中いつでもあなたが集め、送った募金は、WAGGGSのワールドシンキングデイファンドとして世界中のガールガイド・ガールスカウト運動の発展を支えています。ワールドシンキングデイファンドはノンフォーマル教育プログラムの提供、加盟連盟のプロジェクト支援、若い女性のリーダーシップとアドボカシースキルの向上、また世界中のより多くの少女や若い女性と共にこの運動を分かち合い、成長するための支援をしています。

2009年より、ワールドシンキングデイはミレニアム開発目標(MDGs)をテーマとしています。ミレニアム開発目標に焦点を当てることでテーマの認識を高め、ガールガイド・ガールスカウトたちが世界を変えるためにひとりひとりが取り組むことを進めています。それぞれのワールドシンキングデイのテーマは年間を通してのものとして、ガールガイド・ガールスカウトは、それぞれのテーマに関する教育的アクティビティに取り組みます。



2009 MDG 6

HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止



2010 MDG 1

極度の貧困と飢餓の撲滅



2011 MDG 3

ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上



2012 MDG 7

環境の持続可能性の確保



2013 MDG 4 + MDG 5

乳幼児死亡率の削減
妊産婦の健康の改善



2014 MDG 2

普遍的初等教育の達成



2015 MDG 8

開発のためのグローバルパートナーシップ



ワールドシンキングデイ2013 テーマ:



MDG4 乳幼児死亡率の削減

“一緒になら、
子どもたちの命を救える”



MDG5 妊産婦の健康の改善

“すべての母親の命と健康は尊い”

2つのMDGsと2つの活動パック

女性とその子どもたちの命は関連しているものなので、今年のワールドシンキングデイはMDG4とMDG5の2つに焦点を当てています。健康な母親は元気な赤ちゃんを産む可能性が高く、医療サービスを利用できなかったり、不十分だったりすると、母子共に死亡したり外傷を受ける危険性が高くなります。母親が亡くなった場合、その子どもが早死にする可能性は母親がいる子どもと比べて10倍高くなります¹。

皆さんがMDG4とMDG5について学び、行動を起こせるように2つの活動パックを作成しました。MDG4の活動パックは「乳幼児死亡率の削減」に、そしてMDG5の活動パックは「妊産婦の健康の改善」に焦点を当てています。

2013年ワールドシンキングデイピンはすでに購入しましたか？

日本連盟では世界連盟のワールドシンキングデイ2013のロゴをピンにして、頒布しています。皆さん、ワールドシンキングデイピンをつけて、この活動パックに取り組みましょう。



このアクティビティパックには、世界中の子どもの健康や生存に影響を与える問題や、子どもの不健康や死亡の根本的原因、そして、あなた自身の人生や、地域、国、世界に変化をもたらす方法を学ぶのに役立つアクティビティが載っています。また、MDGsやワールドシンキングデイ、そして他の国のガールガイド・ガールスカウト運動が行っている取り組みについても知ることができます。



? 知っていますか？

毎年、全世界で760万人の子ども²と28万7千人の母親³が亡くなっています。この状況は変えることができ、変えなくてはなりません。

・私たちは子どもや妊産婦の死亡原因のほとんどの予防方法や治療方法を知っています。

妊娠、出産、生後一週間の健康管理によって、妊産婦や新生児の死亡（児童死亡の40%以上の割合を占める）のほとんどを予防できます²。下痢、肺炎、そしてマラリアは生後数ヶ月の子どもの死亡の主な原因です²。女性と子どもたちは、治療方法が分からない病気が原因で亡くなっているのではなく、治療を受ける方法がないことが原因で亡くなっているのです。

・死亡原因の根本的な原因は日常生活の状態にあります。

もしも世界にいるすべての女性が教育を受けられ、すべての家族が十分な収入を得ることができ、そしてみんながきれいな水、十分な食料、きちんとした家、良い衛生状態、予防接種、健康管理ができれば、子どもや女性の大部分の命が助かります。これらは単に生活に必要なものというだけでなく、人間の権利そのものです。

・子どもと妊産婦の健康は私たちの地域、国、そして世界がうまく機能しているかを示すバロメーターです。

子どもや妊産婦の死亡は、不平等な道筋が世界に存在していることを示しています。富裕国の女性と子どもは出産時に、下痢や肺炎、マラリアで亡くなることはほとんどありません。子どもや妊産婦の死亡の大部分は途上国で起こります。しかし、子どもと妊産婦の死亡-背後に関係する不平等-は途上国だけの問題ではありません。先進国、発展途上国どちらにおいても、同じ国内で一部の子どもや女性は、他の人々に比べ亡くなる可能性が高いのです。農村地域の生活や貧困家庭の出身、差別を受けている集団に属していることすべてが女性や子どもが病気になったり、死亡する可能性を高めます。

・子どもや妊産婦の健康を改善することは社会にとっていいことです。

子どもや妊産婦の健康のために投資することは、総じて家族や社会の生産性や繁栄を高めます。それは女性や子どもが自分たちの権利を持って生活し、かつ彼らの能力を最大限に発揮することを可能にします。

・このような死亡が会員に影響を与えている

毎年亡くなっていく子どもや女性は、ガールスカウトの仲間の姉妹や兄弟、いとこ、お母さん、おばさん、そして近隣の人々です。彼女らと彼女らの子どもたちの命は尊いのです。





2. ミレニアム開発目標4 (MDG4) について



“一緒になら、
子どもたちの命を救える”

MDG4は5歳以下の子どもたちの死亡数を低下させることに焦点をあてています。

子どもたちの健康は世界中の国々の問題です。

世界的統計は国際社会としてどう取り組むべきかを示していますが、これらは各国の子どもたちの健康や死亡率の違いを示したものではありません。ワールドシンキングデイデイに取り組むことで、自国における子どもたちの健康について学ぶ機会となります。このような情報を参考にしながら、あなたの地域における子どもたちの健康を守るために自分たちができることについて考え、行動しましょう。

国際社会は何を達成しようとしているのでしょうか？

ターゲット4A-

2015年までに5歳未満児の死亡率を1990年の(3分の1)にする。

“ひとりの子どもが死んだら悲劇なのに、何百万人の子どもの死は単なる統計上の数字になってしまうのはなぜでしょう？”

国際社会は目標を達成するために前進しているかをどのように知るのでしょうか？

MDG4の進捗を測定する指標

4.1 5歳未満の子どもたちの死亡率(1000人の新生児のうち、5歳未満で死亡する子どもの数)

4.2 乳幼児の死亡率(1000人の乳幼児のうち、1歳未満で死亡する子どもの数)

4.3 はしかの予防接種を受けた1歳児の割合(はしかの予防接種を受けている12~23ヶ月の幼児の比率)



これらの目標は達成できるのか？

MDGの達成期限はもう間もなくです。

私たちはMDG4を達成する方向に向かっているのでしょうか？



子どもの死亡は低下している

23

最貧国がMDG4の達成に向けて目を見張る進歩を遂げている



2015年にターゲットを達成できるに足るほど、素早い進歩ではない



子どもの死亡は世界や社会における不平等を反映している



子どもの死亡の背景に潜む不平等は開発途上国のみの問題ではない



1990年(MDGsの基準年)に比べ子どもの死亡率は**37%**減少。子どもの死亡数は、1990年の1,200万人から2010年760万人に減少²。これらが良いニュースである一方で、2015年の目標達成年までに子どもの死亡率を67%減少させるという目標に対して、現状はるかに下回っている。

子どもの死亡の95%を占めていた75カ国のうち23カ国で、**2/3**までが子どもの死亡が減少する方向に向っている²。

MDG4の目標を達成するために子どもの死亡を**4倍速以上**で減少させることが必要⁴。

子どもの死亡の**ほとんど(99%)**は開発途上国で起きている⁴。2008年、100人の男の子の死亡に対し107人の女の子が死亡している。南アジアではこの比率が、100人の男の子に対して143人の女の子に上昇した⁵。

アメリカ合衆国の子どもは5歳を迎えることのできる可能性が他の40カ国に比べて**低い**⁶。オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、アメリカ合衆国の先住民の子どもは先住民ではない子どもに比べて1.7~4倍死亡率が**高い**⁷。

なぜ子どもの死亡がすべての国の問題なのか^{8,9}

多くの人々が子どもの死亡は先進国の問題ではないと思っていますが、それは間違っています。子どもは5歳までに死亡する可能性がいくつかの国で他の国より高くなります。たとえ、同じ国であったとしても、貧困家庭の子どもや差別に直面する子どもたちは死亡率が上がります。

先進国における子どもの死亡の多くは乳幼児です。例えば、アメリカ合衆国において、子どもの死亡の約90%は1歳以下の乳児時期に起き、そのうち60%は新生児です¹⁰。先進国における乳幼児の死亡は、ほとんどの場合、医療サービスや医療従事者の不足が原因ではありません。

問題なのは、世界のさまざまな場所で多くの女性が安全な妊娠、出産のために必要な検診などの医療サービスを受けられないことにあります。このことが、新生児合併症や死亡のリスクを高めています。これにはさまざまな理由があります。ある国では自分の健康管理についてはすべて自費で対応することとなり、民間の健康保険に加入することが必要になります。すべての人がこの費用を支払えるわけではなく、既往歴によって保険に加入できない場合もあるのです。

女性が必要な医療サービスを受けるのを阻むものは費用だけではありません。彼らは医療従事者と同じ言語を話すことができなかつたり、仕事を休んで医療サービスを受けることが難しかったり、他の子ども(もう一人の子ども)のベビーシッターを探したり、医療サービスを受けるために長距離の移動が必要だったりします。子どもの健康や生存は国がいかに裕福かということ以上のものを示しています。政府の政策や社会の平等さが大きく影響しています。



妊産婦の死亡もまたいくつかの先進国では問題です。MDG5の活動パックで確認しましょう。





3. 焦点国

ガールスカウト運動が国際的であることを祝うのはワールドシンキングデイの大事なポイントです。これは他の国の少女や若い女性の生活について学び、世界中のガールガイド・ガールスカウトの似ているところや違いを知る、よい機会となります。

2010年から毎年、ワールドシンキングデイでは5つの地域から1カ国ずつ、全部で5カ国に焦点をあてています。中には焦点国以外の国について、その国の少女や若い女性の生活について調べる人もいますし、それら5つの国について調べる人もいます。また、焦点国におけるワールドシンキングデイのテーマについてもっと深く調べることを選ぶかもしれません。

今年焦点をあてる国は・・・

- ・アイルランド(ヨーロッパ地域)
- ・ヨルダン・ハシェミット王国
(アラブ地域)
- ・マラウィ共和国(アフリカ地域)
- ・パキスタン・イスラム共和国
(アジア太平洋地域)
- ・ベネズエラ・ボリバル共和国
(西半球地域)

ここではこれら5つの国の子どもの健康や命について簡単に紹介しています。MDG4の達成に向けて最も厳しい状況にあるのはアフリカやアジア太平洋地域ですが、子どもの健康と命は世界的問題であり、互いに学びあうことができると分かります。焦点国のガールガイド・ガールスカウトが子どもや妊産婦の健康を改善するために地域や国に働きかけていることについてもっと知るためには、www.worldthinkingday.org (英語)をご覧ください。

忘れないで・・・

ワールドシンキングデイファンドのために集めたお金は世界中でガールガイド・ガールスカウト運動を発展させ続けるためと、焦点国でMDG4とMDG5のプロジェクトを支援するためにも使われます。



アイルランド

WAGGGS地域:

ヨーロッパ地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり:1911年

会員数:16,677人

人間開発指数ランキング¹¹:
187カ国中7位

WAGGGS加盟連盟:

ガールガイドアイルランド連盟
(アイルランド・カトリックガイド連盟
とガールガイドアイルランド連盟か
ら成る)

ベネズエラ・ ボリバル共和国

WAGGGS地域: 西半球地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり:1958年

会員数:480人

人間開発指数ランキング¹¹:
187カ国中73位

WAGGGS加盟連盟:
ガールスカウトベネズエラ
連盟

マラウイ共和国

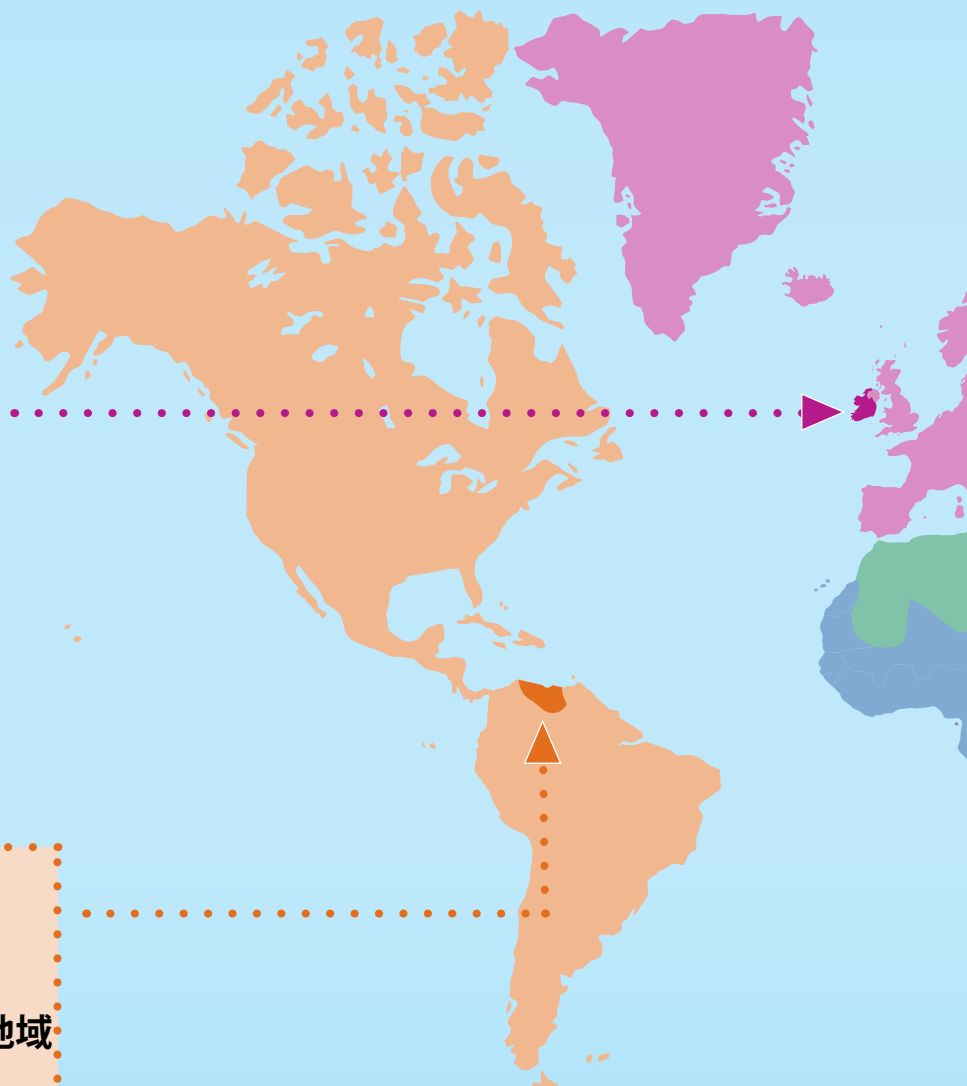
WAGGGS地域: アフリカ地域

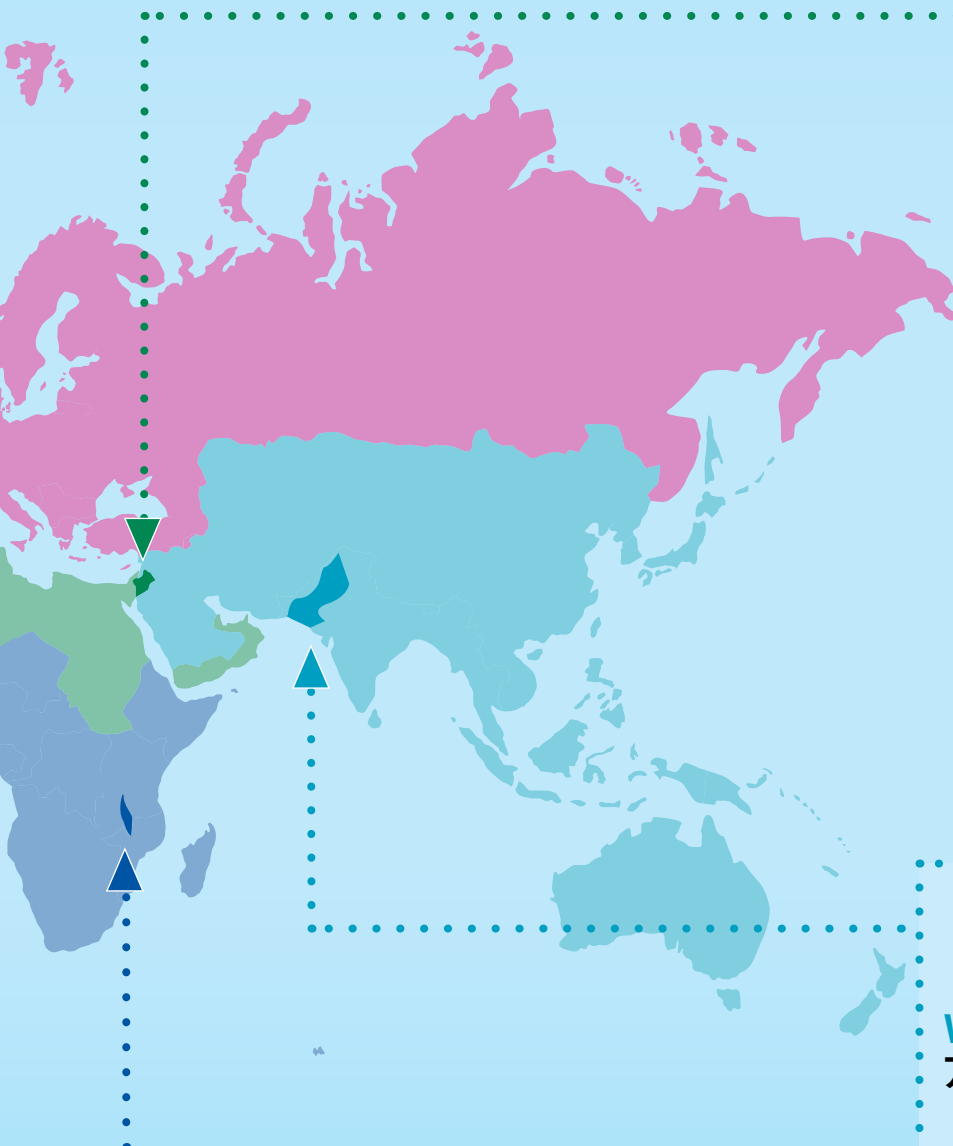
ガールガイド・ガールスカウト活動

会員数: 54,156人

人間開発指数ランキング¹¹:18

WAGGGS加盟連盟: ガールガ





ヨルダン・ ハシェミット王国

WAGGGS地域: アラブ地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり: 1938年

会員数: 9,080人

人間開発指数ランキング¹¹: 187カ国中95位

WAGGGS加盟連盟: ボーイスカウト・ガールガイドヨルダン連盟

活動のはじまり: 1927年

7カ国中171位

インドマラウィ連盟

パキスタン・ イスラム共和国

WAGGGS地域: アジア太平洋地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり: 1911年
(WAGGGSの創立時メンバー)

会員数: 117,692人

人間開発指数ランキング¹¹: 187カ国中145位

WAGGGS加盟所属連盟: ガールガイドパキスタン連盟



“女性と子どもは開発において重要な役割を担っています。
彼女らの健康への投資とは、そのことのためだけではなく、
安定し、平和で生産性の高い社会を築くことになるのです。”

“パン・ギムン国連事務総長”

アイルランド

MDG4と5に関するプロジェクト

アイルランド連盟はもっと資金支援を必要としている
焦点国に資金が届くようワールドシンキングデー
ファンドからの助成金を受け取らない選択をしました。
アイルランド連盟の会員はMDG4や5に関する
たくさんのプロジェクトに関わっています。アイルラ
ンドのガールガイドは「一緒に」「私たちならできる」
「変えよう」「私たちの世界」という4つのキーワード



の下、MDGsに基づいた国際キャンプを行いました。
この1週間のキャンプの間、参加者は自分たちの
住む地域や地域以外にも自分たちが起こせるよい
変化について学びました。アイルランドのガールガ
イドはミレニアム開発目標についてより詳しく学ん
でいる会員に役立つグローバルアクションテーマ
パックのオリジナル版を製作するために、国際NGO
のプラン・アイルランドの協力を得ました。彼らは現
在行っているプログラムがいくつかの健康問題を
解決するには十分ではないことに気付きました。そ
の結果、健康促進パックを更新し、10代のグループ
が健康について話し合うようリーダーに提供しまし
た。アイルランド・カトリックガイド (CGI) は2012年
にミレニアム開発目標に関する全国芸術コンテスト
を開催しました。ワークショップやゲームを通じて、
少女たちはそれぞれの目標について学び、最終的
に芸術作品を一緒に作成しました。芸術作品には、
乳幼児死亡率を減少するために行動を起こすよう
人々に勇気を与える短編映画や、HIV／エイズへの
偏見に立ち向かうポスターが含まれていました。す
べての作品はダブリン市センターで行われた芸術
展示会やアイルランド・カトリックガイド連盟本部で
も展示されました。





ヨルダン・ハシェミット王国

2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

ヨルダンには妊産婦の健康と乳児死亡に影響するたくさんの要因があります。これには喫煙や栄養などの健康に関する選択だけでなく、早婚や暴力などの社会的問題が含まれます。ボーイスカウト・ガールガイドヨルダン連盟は母親やその子どもの健康や命を守るための実践や、健康的な生活を促進するキャンペーンを行うために、シンキングデифアンドからの助成金を利用します。30人の女性が地域内でガールガイドが意識向上のために役立つ方法をワークショップで学びます。シニア部門の100人のガールガイドは、変化を起こすためのキャンペーンやピア・エデュケーションの利用方法を学びます。ポスターやパンフレットのようなキャンペーン資料を作るためにも助成金が役立てられます。



マラウィ共和国

2013年ワールドシンキングデイプロジェクト



マラウィは最も難しい問題をいくつか抱えている国です。マラウィのガールガイドは安全で幸せな子ども時代の夢を実現させるための手助けをすることを決意しました。しかし、学校に行くことができない、早婚、若年出産、高い非識字率など、思春期のマラウィの女の子は健康や幸福に対してたくさんの問題を抱えています。マラウィのガールガイドは思春期の妊娠を減らすためにワールドシンキングデифアンドの助成金を利用します。このプロジェクトではガールガイドのリーダーやパトロールリーダーをピア・エデュケーター（同年代の仲間による教育）としてトレーニングします。ピア・エデュケーターたちは地域キャンペーンを通じて750人の女子学生や1,500人の女の子、600人の成人に対して、MDGsの認知度、特にMDG4と5の認知度を上げます。



パキスタン・イスラム共和国

2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

パキスタンでは20分ごとに1人の女性が亡くなっています。妊娠や出産中の合併症は5人に1人の確率で青年前期の少女や女性（12～49歳）が死亡する主な原因です。パキスタン連盟は北西部の5つの地域で500世帯が妊産婦の健康と乳幼児の死亡について学ぶよう支援するべく、健康の専門家と共に活動するため、ワールドシンキングデイファンドを利用します。ガールガイドは地域のアドボカシーキャンペーンやイベントを通じて認知度を上げます。地域の少女や若い女性がこれらの重要な課題について継続的に学べるように、ガールガイドのオープン集会への参加を促します。

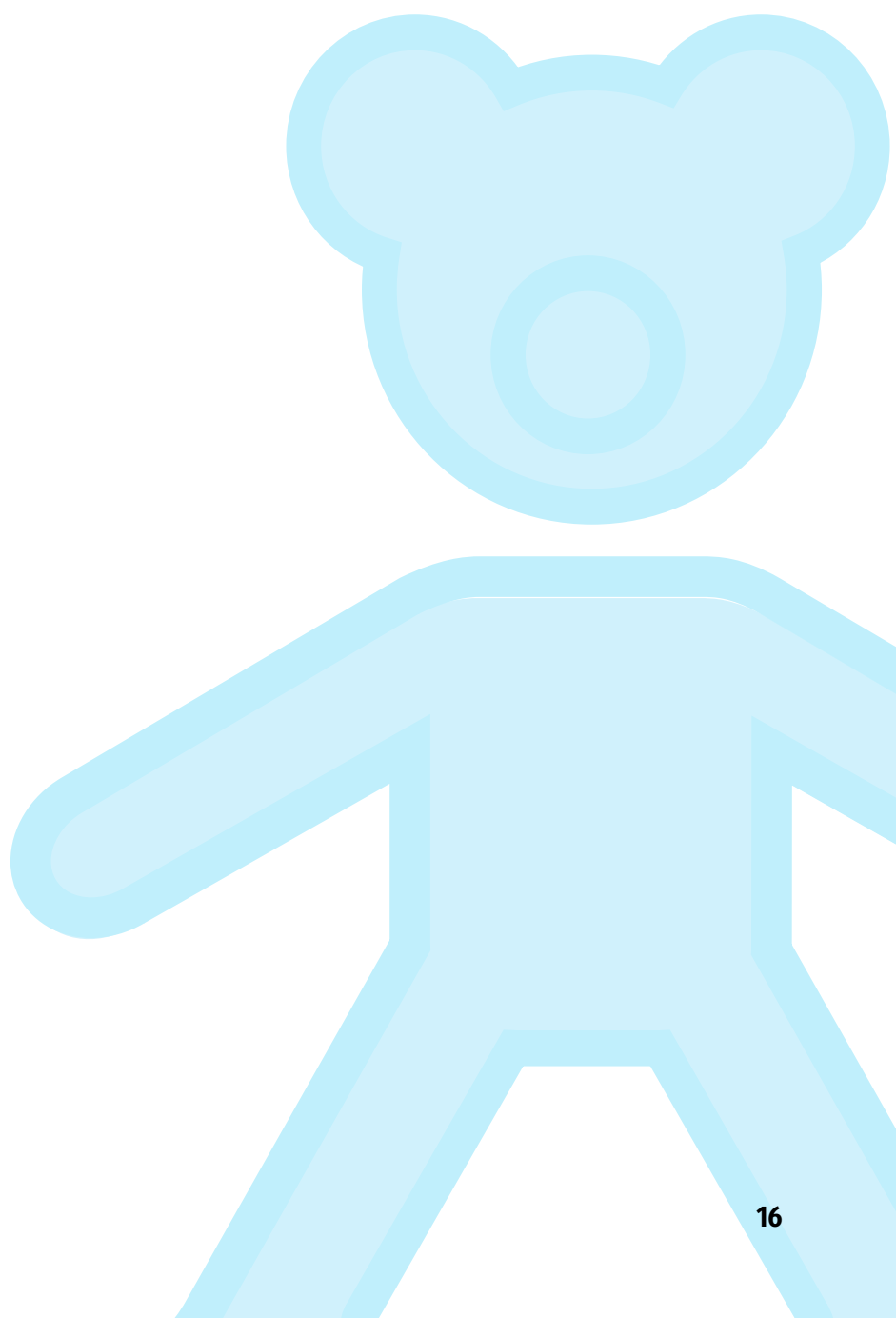


ベネズエラ・ボリバル共和国

2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

ベネズエラでは適切な医療サービスを利用できないといった防ぐことができる原因によって高い妊産婦死亡数が存在します。ベネズエラ連盟は健康と責任ある関係についてより多くの若い女性を教育するためにワールドシンキングデイファンドの助成金を利用します。連盟では70人の少女と若い女性の会員が、全国の530人の学生に青年前期の妊娠やその危険性について教育します。そして参加した少女や若い女性には、得た情報を活かし、今後の活動に多くの若者が参加するよう呼びかけることを促します。







4. アクティビティ

全体図

MDG4の導入と調べるためのアクティビティ

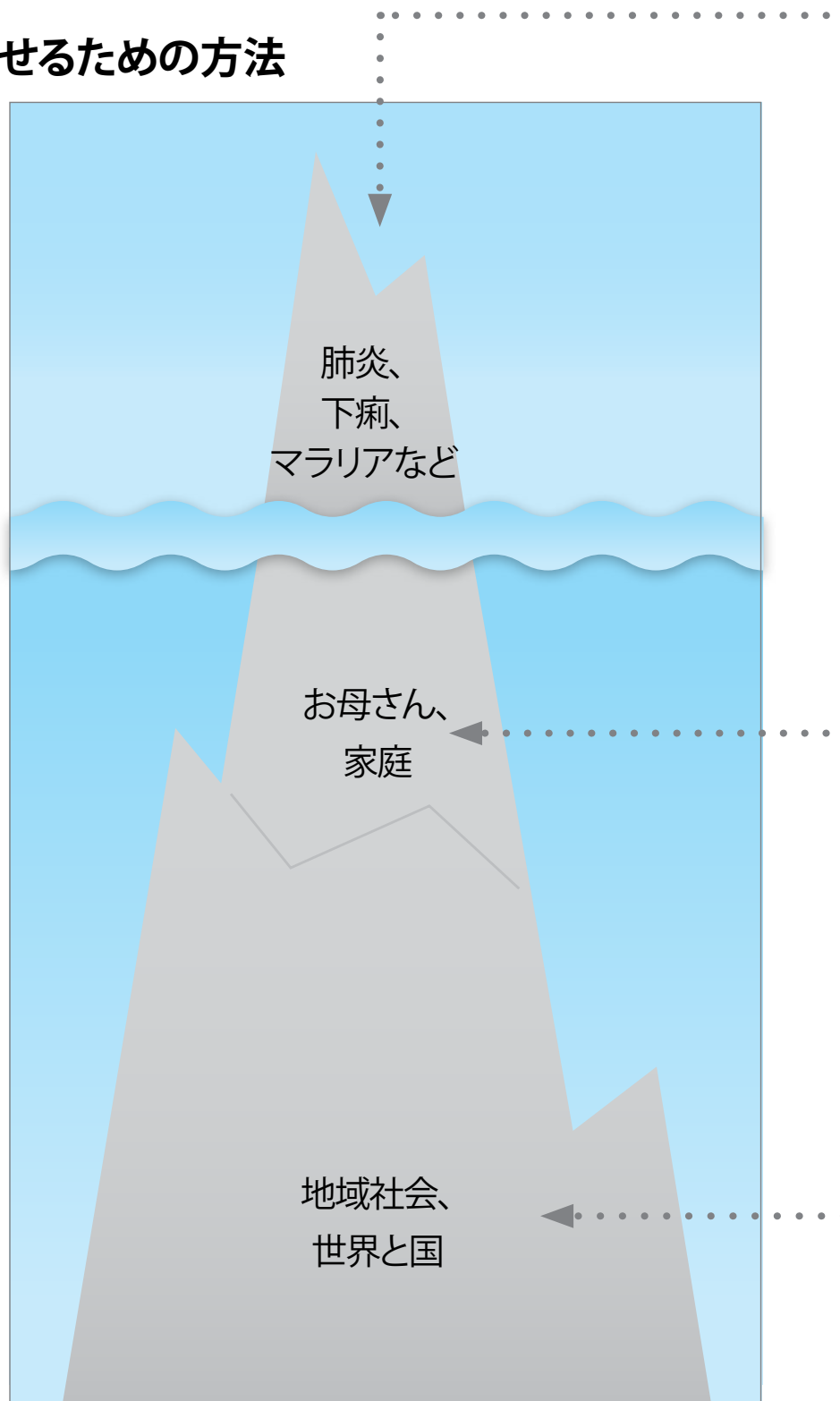
平等な社会：健康を向上させるための方法

すべての子どもたちが、健康的に長生きできるわけではありません。

貧しい家庭や差別されている集団に属している子どもたちは病気をしたり、亡くなったりする可能性が高いのです。発展途上国の子どもたち、特に女の子たちのほとんどは5歳の誕生日を迎えるまでに亡くなる危険にさらされています。

このような格差は、生物学的理由によって起きるわけではありません。子どもたちが生まれ、育ち、日常生活を営む条件下における、避けられるはずの不公平な違いから起きるのです。この差を埋めるためには、子どもたちの生活状況を改善するための行動を起こさなければなりません。

右の図は、子どもたちが健康でいるためにどのような手助けを必要としているのかを理解するのに役立つはずですが、子どもの死亡の直接原因はまるで氷山のてっぺんのように簡単に分かります。しかし、これは問題のほんの一部に過ぎません。なぜ、新生児合併症が起きるのか、なぜ病気になったり、予防できる病気で亡くなったりするかなど、たくさんの理由が層になって重なり合っています。それは子どもの現在置かれている環境—子どもの家族—に始まり、子どもたちの地域や世界へと広がります。私たちが知っている「病気になる」と「死亡する」との間にある差は、子どもたちがこれらの原因になる事柄に対し、対応する環境にあるかどうかの格差が反映されているのです。





子どもの死亡で もっとも一般的 な原因は何か？

- ・新生児合併症や病気 — 40%
- ・肺炎 — 14%
- ・下痢 — 10%
- ・マラリア — 7%

これらはすべて、少しの費用で効果的な治療ができ、予防できる病気や病状です。

現在、子どもが 置かれている環 境のこういった 要素が、新生児 合併症や病気にか かることに影響を 与えているか？

母親

- ・栄養と健康の状態
- ・年齢
- ・子どもの置かれている環境
- ・教育レベル
- ・育児や家計に関する決定に関わること
- ・医療を受ける機会

家庭

- ・十分で安全な家、食料、水、公衆衛生
- ・「手を洗う」、「健康的な食事」等健康を促進することを実施できる家庭
- ・収入
- ・男女の役割、母親としての責任、父親としての責任についての考え方
- ・医療や予防接種を受ける機会
- ・父親を含む、子どもたちを愛し、支援し、子どもの権利を守る人々

これらの状態に 影響する、より 幅広い要因は何 でしょう？

地域社会と国

- ・健全な生活水準、教育、子どもと女性の権利を守り、向上に努め、健康の促進・病気への対応、清潔な環境、安全な水、公衆衛生の改善を保障する政府の政策とシステム
- ・宗教的、文化的、社会的信条や習慣
- ・少女と少年、女性と男性の社会的地位や権利の平等の度合い

- ・過去、現在の差別と社会的疎外
- ・紛争と国家の虚弱

世界

- ・人権、政府開発援助、国際貿易、また他の世界的問題に影響を与える世界的政策やシステム
- ・気候変動



細菌の旅行



細菌がどのように移動し、どこへ行き、どのように増えていくか知っていますか？

ワセリン、シア・バター、ココナッツオイル等のオイルベースの保湿剤を手に塗ります。その手にキラキラしたラメまたは潰したドライ・ハーブを載せます。メンバーはそれぞれ違う色のものを使いましょう。どこに細菌が広がるか・・・両手を擦り、周りのものに触ったり、他のメンバーと握手したりしましょう。

さて、掃除の時間です。石鹸で手を洗いますー10秒、30秒、60秒ごとに手を洗うのをやめて、時間とともにどれくらいの細菌の量が手に残っているか観察します。指示通りに洗ったとき、たくさんの細菌が落とせたかどうか見てみましょう。あなたが触ったものや場所もきれいにするのを忘れないでくださいね。



世界の子どもの健康を比較しよう



ガールガイド・ガールスカウトは世界中に145カ国の加盟連盟があります。毎年ガールガイド・ガールスカウト世界連盟はワールドシンキングデイに、5つの地域から1カ国ずつ焦点国を決め、特集します。今年の焦点国の特集記事を読んでください。そして、インターネットや図書館で調べたり、地方自治体の代表者に連絡をしたりして、自分の国がどのように統計をとっているか確認してみましょう。なぜ一部の国では他の国に比べ亡くなっていく子どもが多いのか調査してみましょう。子どもの死亡率を下げるために国がどのような政策をとっているか調べましょう。焦点国におけるワールドシンキングデイのプロジェクトを支援するために、関心を高めたり、募金活動を行うことでこのアクティビティをさらに発展させましょう。



MDGのウェビング



8つのMDGsはすべて子どもの健康や命に関わる問題に繋がっています。みなさんで円になって、それぞれ一人ひとりが異なるMDGの担当となってください。(8人以上いる場合は、複数の人がグループになって担当することも可能です。)

まず、MDG4を象徴する人(またはグループ)は円の真ん中に立ちましょう。そこから毛糸玉を輪の中の誰か一人に向けて転がします。毛糸玉を受け取った人は、自分が担当するMDGに関連した問題で子どもの死亡の一因となっていることを一つあげ、真ん中に立っている人にその毛糸玉を戻します。一毛糸玉を一度手にした人は、その糸を握り続けることを忘れないでください。次に真ん中に立っている人は輪の中にいる他の人に向けて毛糸玉をパスしましょう。アイデアが尽きるまでパスし続けます。そうすると、子どもの死亡が他のMDGにもつながっていることが分かる毛糸の編み物が完成します。それぞれのMDGは、子どもの健康の向上や子どもの死亡を減少させるために何ができるか、しばらく考えましょう。解決方法が出るたびに、リーダーが真ん中にいる人と輪になっている人の、間をつないでいる糸を切っていきます



他のMDGsを達成することが子どもの健康や生存を向上させるのにどのように役立つのか、あなたが学んだことをふりかえてみましょう。そして、友達や家族にあなたが学んだことを伝えましょう。



アワカバニャ・アクティビティ: お医者さんが電話を かけてきて...



このゲームでどのように病気が
広がるかを知ることができます。

集会前に、「細菌」と書いたカードを4、5枚作ります。水
飲み場やドアノブ、文房具入れなど、たくさんの人が触
るものにカードをテープで貼りましょう。これを集会前
に準備して、集会の終わりにこのゲームの種明かしをし
ましょう。

メンバーの誰かにこのゲームの手伝いを頼んで、その
役割を説明し、病気になる人を演じることに協力してもら
いましょう。集会の最後には手伝ってくれた人にたく
さん感謝しましょう!

お医者さんから電話がかかってきて、グループの中の
一人がひどい風邪にかかっていると言っていたことを
グループのメンバーに伝えます。

その症状は: 極度の疲労、扁桃腺の腫れ、鼻詰まりで真
っ赤に腫れた鼻、そしてとてもイライラしています。

お医者さんは風邪の細菌は広がりやすいので、他のメ
ンバーも同じ風邪にかかる心配しています。

次のステップに沿って、進行していきましょう:

- ・ 風邪がどのようにうつるかを知っているか聞いてみ
ましょう。(例えば: 風邪の人が触った何かに触れる、
咳、くしゃみ など)
- ・ メンバー全員の名前が入った表を作りましょう。そし
て、風邪にかかっているメンバーと一緒に集会に参加
したかどうか、ゲームをしたかどうか、隣に座ったかど
か、全員に手をあげてもらいます。風邪にかかっている
メンバーと接触した場合は、その度に手を挙げ、そ
ぞれのメンバーの名前欄に☑をつけましょう。もし
も風邪の女の子が咳やくしゃみをしたなら、みんなが風
邪の細菌を吸い込めるぐらいとても近いところにいる
ことを説明しましょう。さらに、カードの貼ってある場所
を触ったかどうか質問するのを忘れないでください。
- ・ 病気予防のために出来る健康的な習慣はどのよう
なことからメンバーに聞いてみましょう。

ポイント 細菌と寄生虫

細菌と寄生虫は人間や動物、植物を病気に
することができる生命体(有機体)です。細菌は
人の目で見ることの出来ないくらいとても小さ
いものです。寄生虫は宿主に生活し、養分を得
る生命体(有機体)です。それらは細菌やもっと
大きな生命体のサナダムシや回虫になること
もあります。

細菌は実際に至るところに存在します。 - 私
たちの胃、手、そして家の至るところに。

細菌には4つの種類があり、- バクテリア、ウィ
ルス、菌類、原虫がもっとも一般的な細菌の種
類です。

人間や動物の排泄物は細菌や寄生虫が人
の身体に入り込む、もっとも一般的な方法です。
人間の便1グラム辺り1,000万個のウィルスと
100万個のバクテリアが存在する可能性があります。
安全な水に良い衛生状態、公衆衛生、
そして食の安全を重視する習慣が細菌と寄生
虫の拡散を防ぎ、予防接種もまた、細菌が引き
起こす病気から守るもうひとつの方法です。

- ・ 次の質問に「はい」と答えたら、表の答えたメンバーの
欄にそれぞれ違う色のカラーペンで毎回スマイルマ
ークまたはそれぞれのメンバーがわかるシンボルを
描きましょう:
 - 集会が始まる前に手を十分に洗いましたか?
 - 今日、野菜やフルーツを食べましたか?
 - 昨日の夜は早くまたはいつもの時間に寝て、十分な
睡眠をとりましたか?
 - 今週、テレビを見るよりも運動をたくさんしましたか?
- ・ もしもメンバーが☑よりスマイルマークが多かったら、
その人たちは風邪の細菌が増殖したり、病気になっ
たりする前に風邪に打ち勝つ力を持っています。
- ・ もしも病気になっていたなら、自分と同じように他の人が
病気にならないようにするために出来ることは何かグ
ループに聞いてみましょう。
(例えば: 十分な睡眠をとる、必要があれば家で過ごす、
咳やくしゃみをしていたら自分の口をマスクで覆う、必
要であればお医者さんにみてもらい、処方された薬を
飲む、こまめに手を洗う、水分をたくさんとる、など)



地域の清掃活動



掃除をすることであなたの地域から細菌や寄生虫を減らすお手伝いをしましょう!あなたの地域の水源地、遊び場、学校等を少しでもきれいにするクリーンアップデイを開催しましょう。何か水を汚染するようなものがあれば、地方自治体に連絡しましょう。

蚊を減らすために淀んだ水を取り除いたり覆ったりしましょう。「クリーン・マラソン」を後援してくれる人を募ってワールドシンキングデイファンドのためのお金を集めましょう。子どもの健康のためにきれいな環境の大切さについて地域社会に伝えられるよう、ポスターを作ったり、集会を企画したり、地元のメディアに清掃活動を報道してくれるようお願いしてみましょう。

ポイント 下痢

下痢は生後1週間の子どもの死亡する二大原因の1つです。2010年に836,000人の子どもの下痢で死亡しました²。

下痢とは軟便が頻発することです。誰かが下痢をしているとき、その人は水分や塩分、ミネラルを失っている状態にあり、場合によって脱水症状や死に至ります。下痢による子どもの死亡の90%は経口補水液として知られる水、糖分、塩分の単純な処方によって簡単に防ぐことができます¹²。

下痢の原因はアレルギー、情緒的ストレス、腸の寄生虫、細菌やウィルスの感染症を含み、さまざまです。人間の排便は下痢を引き起こす細菌の主要な供給源です。安全な水、良い衛生状態、公衆衛生、食の安全を重視する習慣は下痢を予防するために必要なものです。

? 知っていますか?

妊娠する前、妊娠中、出産後に医療を利用することでたくさんの子どもの命を守ることができます。児童死亡の40%は出産時や生後1週間の間に起きます。



アワシャレーアクティビティ: 空欄を埋めましょう



あなたの知識をテストしてみましょう!どんな言葉が抜けているか見つけ出しましょう。答えは問題の後ろにあります。



子どもの死亡率の減少は

MDG (1) _____ のテーマです。

子どもの死亡とは乳児と5歳以下の幼児の

(2) _____ です

目的は5歳未満の死亡率を1990年の水準の3分の2にまで(3) _____ こと。

(4) _____ を受ける機会に関する男女間の格差はせまくなっているが、発展途上国では特に、女性より男性が(5) _____ 教育を受ける機会を得ている。(6) _____ ・ 中等学校への少女の入学は顕著に増加している。貧困は、特に中等教育を受ける年代の少女にとって教育を受ける機会を失う大きな要因である。世界中の多くの地域の女性と少女は、水を運び食事を準備することに一日の多くを(7) _____ いる。多くの女性と少女は妻や母として役割に応えるため家庭にいて(8) _____ いる。

答え

(1)4 (2)死亡 (3)減少する (4)教育 (5)大学
(6)初等 (7)費やして (8)期待されて



サンガムアクティビティ: 子どもを守る



子どもの健康や生存に影響を与えるものは、世界のそれぞれの地域社会によって違います。何が影響を与えているかわかりますか？

きれいな水や栄養のある食べ物、医療ケア、健康な家族、安全な家等、子どもが病気から自分自身を守るために必要なものは何か、意見をメンバーに出してもらいましょう。

話が聞こえないように2人のメンバーに部屋の外に出してもらいます。「子ども」役になる人を一人選び、「子ども」以外のグループの全員は「病気から子どもを守るために必要なもの」の役になります。部屋の外に出た2人は子どもに近づきたい「ウィルス」の役です。「病気から子どもを守るために必要なもの」の役になった人たちは両手を後ろにし、身体を使って子どもを守ります。

「ウィルス」になった2人は誰を触ってもいいですが、もし子どもを触ったら「ウィルス」勝ちです。「病気から子どもを守るために必要なもの」役の人は頭を使って、「子ども」が誰なのか「ウィルス」に気づかれないようにしながら「子ども」を守りましょう。



++ このゲームを行って、「ウィルス」「病気から子どもを守るために必要なもの」「子ども」の関係から気づいたことを話し合ってみましょう。

あなたの国や世界レベルでの最大の子どもの死亡原因を調査するために、インターネットや図書館で調べたり、地域の医療関係者の話を聞く活動を行いましょう。これらの死を防ぐために何ができますか？グループで意見交換をしてみましょう。



健康な子どもに育つ



私たちは生まれたときから常に変化し続けています。子どもたちが大人になるために通る成長過程を理解するならば、あなたは彼らの可能性を最大限に伸ばすための支援方法を見出すことができるでしょう。女性が「子どもを妊娠したとき」から、「その子どもが18歳になるまで」のタイムラインを描きましょう。（人権委員会では、18歳を小児期の終わりとしています。）成長するにつれ、子どもの中に起こる大きな変化（身体や心、人間関係を含む）を記録しましょう。両親や支援してくれる大人たちは、あなたが書いたタイムラインの各成長段階で、子どもたちが健康を維持しながら最大限の可能性を伸ばすためにどのような支援ができるでしょうか？地域社会に、子どもの成長についての情報や子どもの成長と健康の支援方法について話をしてくれる専門家がいますかを調べてみましょう。



++ 子どもの健やかな成長を支援するために学んできたことをどのように活用できるか、ふりかえてみましょう。



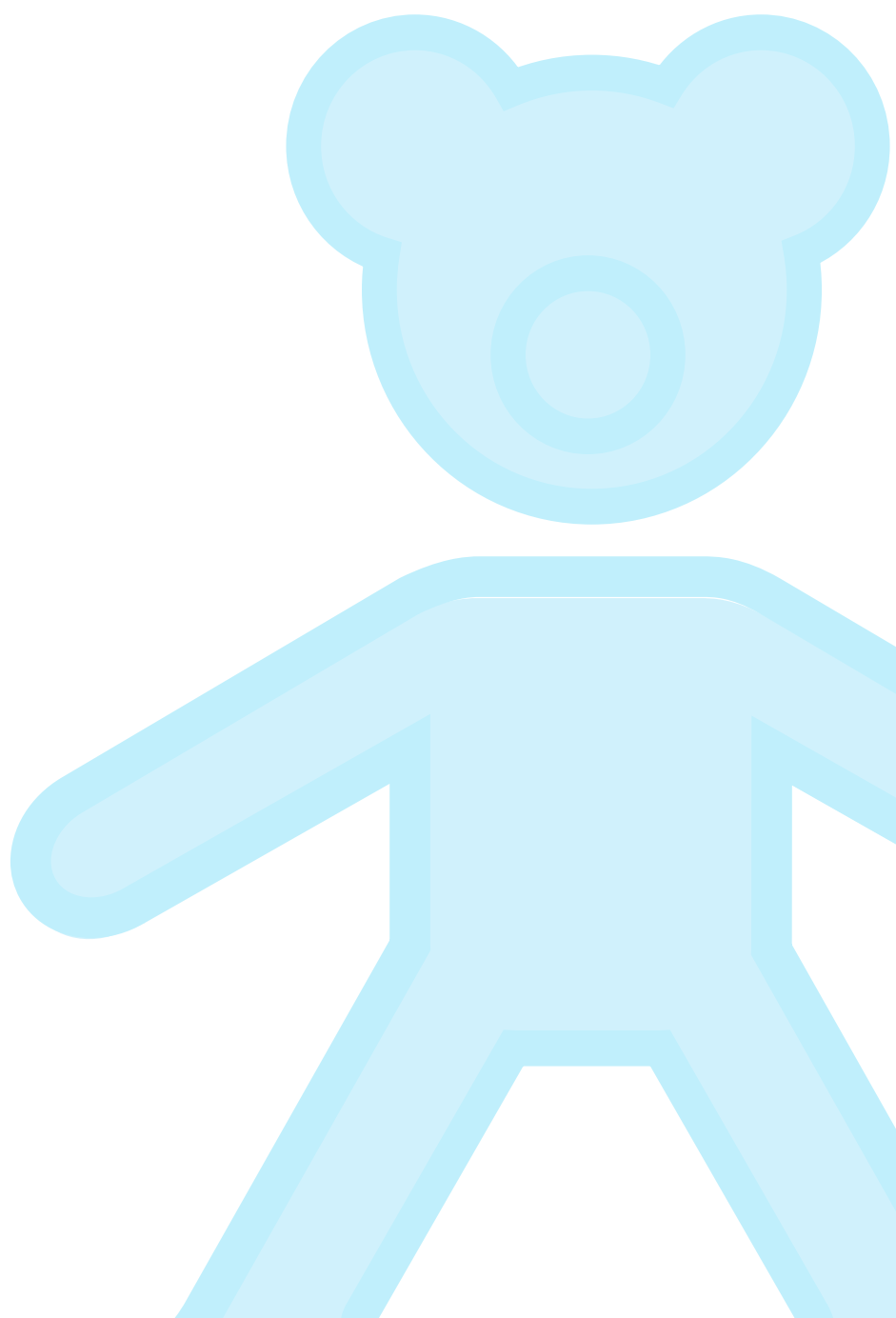
写真を撮ろう



あなたの地域の「子どもの健康の改善に役立つもの」「子どもの健康に害を与えるもの」を表現した写真や絵の発表や、本や展示品を作りましょう。友だちや地域の人にも参加してもらいましょう。どんなことが起こっているのか、写真や絵画にはどのように子どもや女性の健康に影響を与えるのかを説明するキャプションをつけましょう。地域の人や地元の意思決定者に写真や絵に描かれていることについて話したり、子どもと妊産婦の健康の向上が貧困の減少や男女平等、普通教育を受ける機会、そして環境維持の促進にいかに関与するかを説明しましょう。



1. UNFPA and UNICEF (2010). Women's and Children's Rights: Making the Connection.
www.unfpa.org/public/op/preview/home/publications/pid/7269.
2. WHO and UNICEF (2012). Building a Future for Women and Children – The 2012 Report.
www.countdown2015mnch.org/reports-and-articles/2012-report.
3. WHO, UNICEF, UNFPA, and The World Bank (2012). Trends in Maternal Mortality: 1990 to 2010.
www.unfpa.org/public/home/mothers/MMEstimates2012.
4. Save the Children UK (2011). No Child Born to Die: Closing the Gaps.
www.savethechildren.org.uk/resources/online-library.
5. Save the Children UK (2011). An Equal Start: Why Gender Equality Matters for Child Survival and Maternal Health.
www.savethechildren.org.uk/resources/online-library.
6. Save the Children UK (2012). State of the World's Mothers 2012.
www.savethechildren.org.uk/resources/online-library.
7. Smylie, J. and Adomako, P. (2009). Indigenous Children's Health Report: Health Assessment in Action.
www.stmichaelshospital.com/crich/indigenous_childrens_health_report.php.
8. Amnesty International USA (2010). Deadly Delivery: The Maternal Health Crisis in the USA.
www.amnestyusa.org/sites/default/files/pdfs/deadlydelivery.pdf
9. Amnesty International USA (2011). Deadly Delivery: The Maternal Health Crisis in the USA – One Year Update Spring 2011.
www.amnestyusa.org/sites/default/files/deadlydeliveyoneyear.pdf
10. UNICEF (n.d). Country Statistics.
www.unicef.org/statistics/index_countrystats.html.
11. UNDP (2011). Human Development Reports.
hdr.undp.org/en/countries/.
12. MDG Alliance (n.d.). One Million Children:
A Global Partnership to Save Children from Diarrheal Diseases





World Association
of Girl Guides
and Girl Scouts

Association mondiale
des Guides et des
Eclaireuses

Asociación
Mundial de las
Guías Scouts